

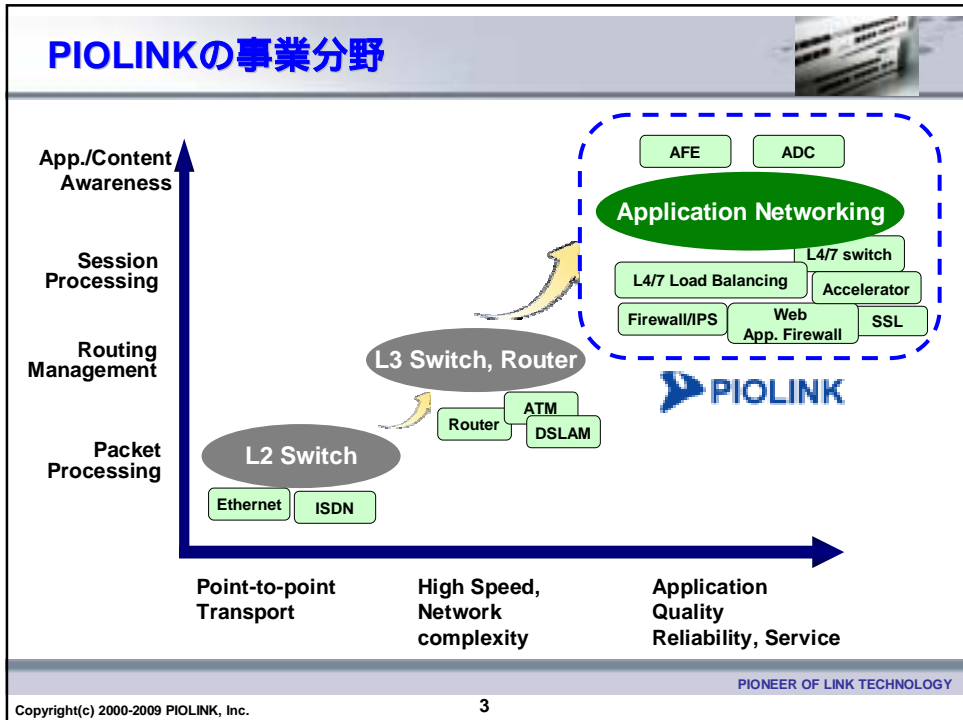
ビジネス戦略



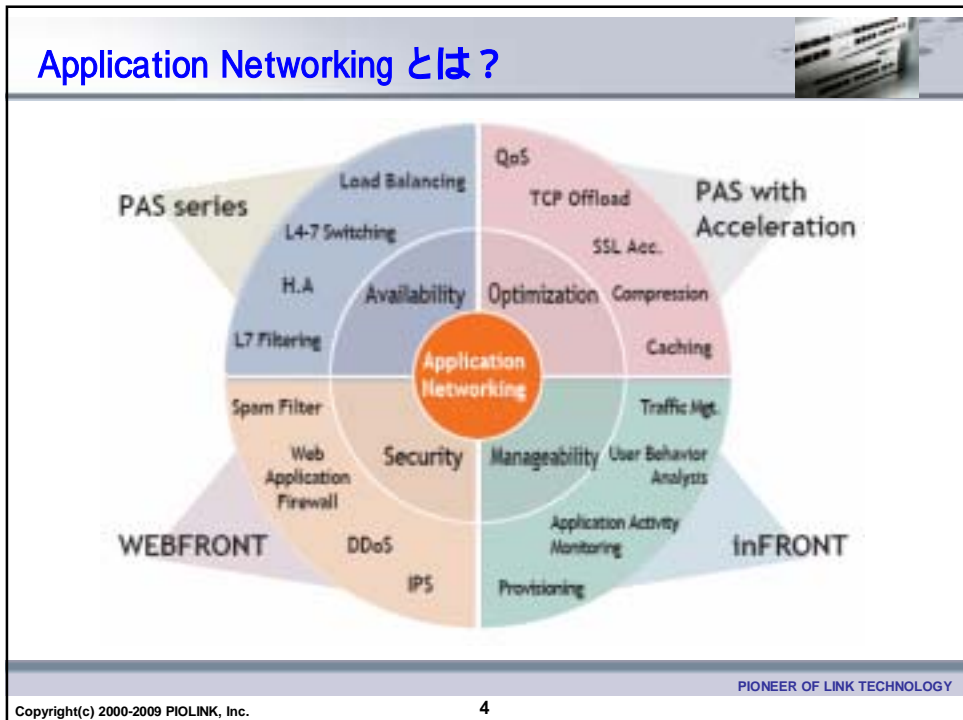
2009年2月
株式会社 パイオリンク

製品戦略

PIOLINKの事業分野



Application Networking とは？



PASシリーズ Newモデル



概要

- バックプレーンスピードの向上(128Gbps)
- RoHS対応
- IPv6機能対応

PAS10000

- 2009年4月製品リリース
- 2009年3月以降、パートナー様の検証予定

PAS 3700 / 5200 / 8200

- 2010年1月製品リリース
- 「PIOLINK OS」は既存モデルと互換性を維持

PIONEER OF LINK TECHNOLOGY

GUI、マニュアル改善(検討段階)



目的

- 利便性の向上
- 製品完成度の向上
- 開発工数の削減

概要

- PIOLINK OS 共通マニュアルの製作
- マニュアルのコンパクト化
- オンラインヘルプの実装

スケジュール

- 2009年12月

PIONEER OF LINK TECHNOLOGY

次世代プラットフォーム開発



概要

- 拡張性に優れたプラットフォームの開発
- 新機能開発に優位なアーキテクチャの採用
- 各種機能のモジュール化による提供を実現

手法

- ローエンドモデルの先行開発
- 各種機能の追加開発

スケジュール

- リリース発表:2010年上半期
- 製品リリース:2010年下半期

PIONEER OF LINK TECHNOLOGY

販売戦略




PIONEER OF LINK TECHNOLOGY

PASシリーズ 製品ラインアップ

コスト重視のローエンドモデル

100万円台


PAS 1700



PAS 1708 PAS 1716

100M Port
400 Mbps

PAS 3500




PAS 3516 PAS 3516-SSL

Giga Port
1.5Gbps
SSL 搭載

コスト・性能重視のミッドレンジモデル

300万円台


PAS 5000



PAS 5016 PAS 5016-SSL

Giga Port
3Gbps
SSL 搭載

PAS 8000




PAS 8016 PAS 8016-SSL

Giga Port
6Gbps
SSL 搭載

性能重視のハイエンドモデル

500万円台

PAS 10000



PAS 10020 PAS 10020-SSL

10Giga Port
8Gbps
SSL 搭載

900万円台

Copyright(c) 2000-2009 PIOLINK, Inc. 9

販売戦略

リブレース市場への提案

- F5、Fujitsu、Nortelなど

PASの用途開拓

- WEBキャッシュ・ソリューション
- 特定分野向けソリューションへの標準導入
- 新たな市場の開拓

ミッドレンジ製品 PAS5016 / 8016の拡販

- 標準価格の改定(大幅なプライスダウン)
- 「ソリューション」「リブレース」への提案

Copyright(c) 2000-2009 PIOLINK, Inc. 10 PIONEER OF LINK TECHNOLOGY



マーケティング戦略

マーケティング戦略



- 自社WEBサイト・メールマガジン
 - エンドユーザーへの情報配信
- 導入事例の制作
 - ソリューション導入、システム標準採用
- 広告活動
 - 雑誌(日経BP社)、WEB(キーマンズネット)

PIOLINKの認知度アップ!

技術サポートの活動紹介



2009年2月
株式会社 パイオリンク



PIOLINK OS 機能追加

v8.5.x (PAS 3500 / 5000 / 8000 対応)

2008年度 主な実績



□ RSTP機能追加

□ L7機能追加

- ✓ URL rewrite, HTTP redirection 機能
- ✓ ルールのアクション追加
(reject, HTTP Responseコード応答)
- ✓ パターン種類の追加
(HTTP method, HTTP version, Client IP network等)
- ✓ パターンの論理組合せ追加
- ✓ HTTPヘッダーフィールド値でのセッション維持
- ✓ urlhash拡張

PIONEER OF LINK TECHNOLOGY

2009年度 計画

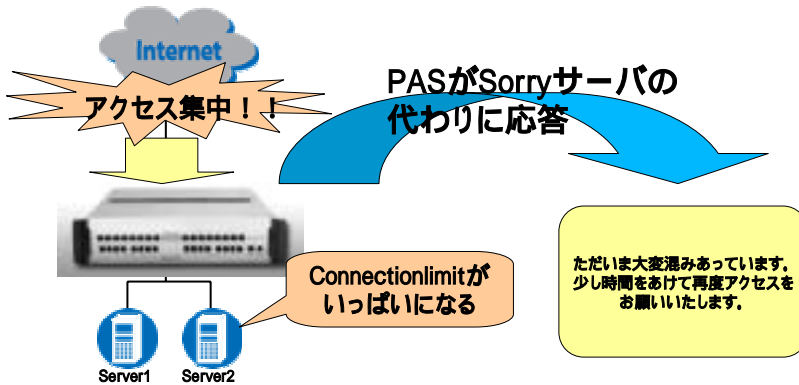


- PAS自身がSorryサーバになる
- ILB/GWLBのActive-backup
- NAT機能の独立
- SSLクライアント認証
- Config-sync時にrebootなしで設定反映
- Graceful shutdownのコマンドレベルでの実装
- ServerレスポンスをRewrite

PIONEER OF LINK TECHNOLOGY

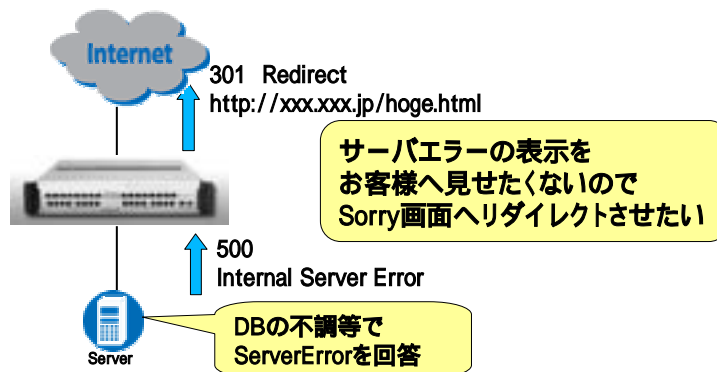
2009年度 計画

PAS自身がSorryサーバになる



2009年度 計画

サーバレスポンスのリライト機能





BIG-IP リプレース 支援

キーワードは…
「BIG-IP v4.x の2008年末サポート終了」
「経済危機によるコスト削減」

PIONEER OF LINK TECHNOLOGY

Copyright(c) 2000-2009 PIOLINK, Inc.

19

BIG-IPに出来てPASに出来ないこと



- **負荷分散方式 (サーバレスポンスタイム、独自形式)**
 - ✓ サーバの状態を計測し割り振るサーバを決める方法 (ダイナミックロードバランス)
 - Fastest (応答速度の速いサーバを選択)
 - FastestとLeastConnectionsを組み合わせた独自方式
- **プログラムを使用した「アプリケーションヘルスチェック」**
 - ✓ モジュールを組み込み、アプリケーションに特化したヘルスチェックが可能 (iControl)
- **SSLクライアント認証**
 - ✓ クライアントにSSL証明書を提示させ、認証する仕組み。
通常、サーバーが信用する認証局が署名した電子証明書をクライアントが提示して、SSL接続が成立する。

PIONEER OF LINK TECHNOLOGY

Copyright(c) 2000-2009 PIOLINK, Inc.

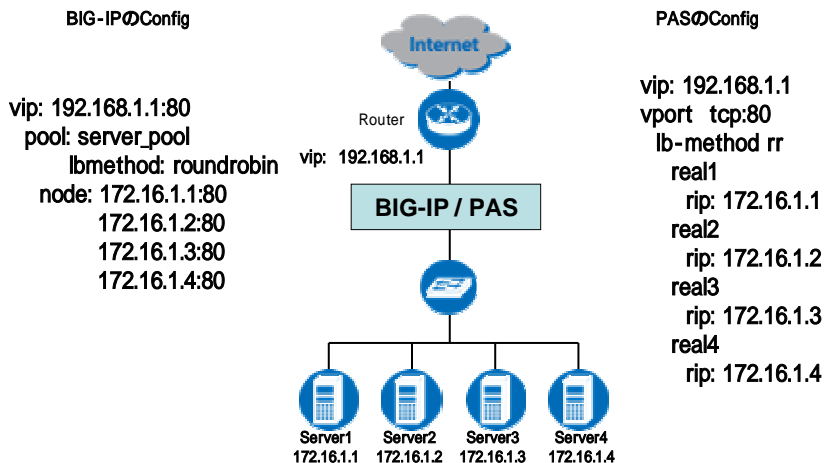
20

PASの導入メリット



- Switchベースなので処理能力が高い
- HDDを搭載していないので、故障率が低い
- 低消費電力 (BIG-IPの約1/3)
- 低価格 (BIG-IPの約1/2)

L4SLB設定 Config比較



L7SLB設定 Config比較



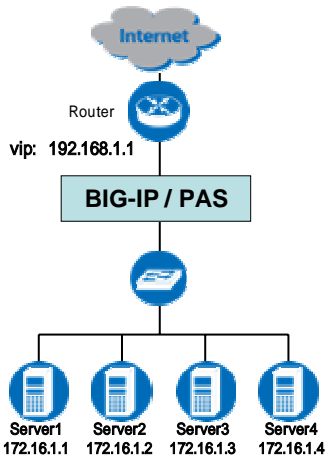
BIG-IPのConfig

```

vip: 192.168.1.1:80
rule: web_lb
  if URI contains ".jpg"
  use img_server
  else use server_pool

pool: img_server
  node: 172.16.1.4:80

pool: server_pool
  lbmethod: roundrobin
  node: 172.16.1.1:80
        172.16.1.2:80
        172.16.1.3:80
    
```



PASのConfig

```

l7slb web_lb
  application http
  vip 192.168.1.1
  vport 80

real 1
  name real1
  rip 172.16.1.1
  rport 80
real 2
  name real2
  rip 172.16.1.2
  rport 80
real 3
  name real3
  rip 172.16.1.3
  rport 80
real 4
  name real4
  rip 172.16.1.4
  rport 80

layer7
  pattern 1
  type uri
  string .jpg
  match suffix

group web_lb
  real real1
  real real2
  real real3
  lb-method rr

group image
  real real4
  lb-method rr

rule 1
  priority 10
  pattern 1
  group image

rule 2
  priority 20
  group web_lb
    
```

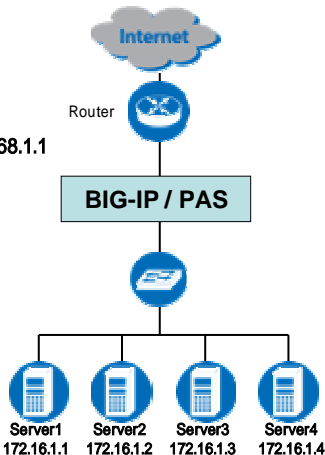
NAT設定 Config比較



BIG-IPのConfig

```

snat (172.16.1.1 172.16.1.2
      172.16.1.3 172.16.1.4) to 192.168.1.1
    
```



PASのConfig

```

gwlb gwlb
  lb-method rr
  rip: 192.168.1.254
  mac: xx:xx:xx:xx
  interface:ext
  nat 1
  type source-nat
  sip: 172.16.1.0/29
  natip: 192.168.1.1
    
```



WEBキャッシュ・ソリューション

PIONEER OF LINK TECHNOLOGY

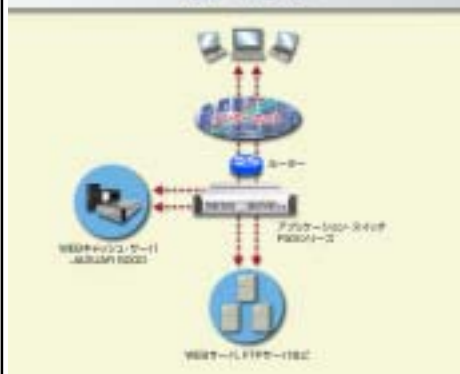
Copyright(c) 2000-2009 PIOLINK, Inc.

25

2つの構成



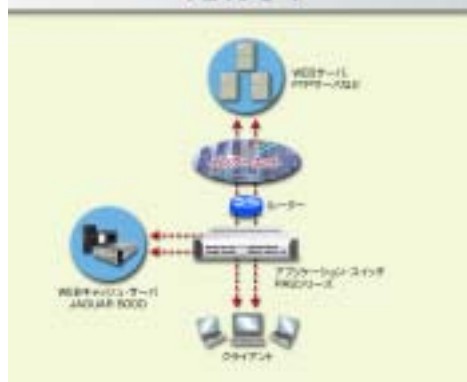
リバースモード



リバースモード:ポータルサイト、ショッピングサイト、新聞社、放送局などで利用し、コンテンツ配信サーバのコスト削減に効果的。

プロキシモード:ISP、CATV事業者などの回線事業者のバックボーン回線の負荷軽減。

プロキシモード



PIONEER OF LINK TECHNOLOGY

Copyright(c) 2000-2009 PIOLINK, Inc.

26

機能要件(某キャリア様)

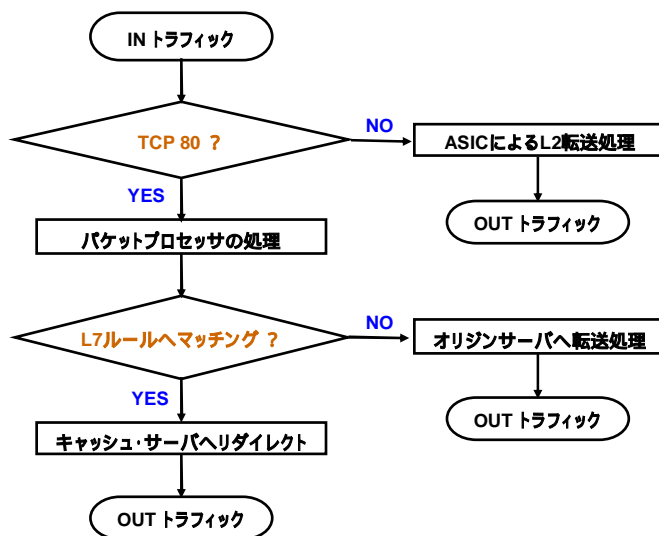


- **トランスパアレントモード(ブリッジ構成)での導入**
 - ✓ 既存ネットワークの設定変更なしで導入
- **ワイヤースピードの転送処理能力**
 - ✓ 既存ネットワークのトラフィックに影響なし
- **L7 CSLB機能**
 - ✓ L7設定に該当するトラフィックのみ横取りしリダイレクト
 - ✓ それ以外のトラフィックは全てバイパス処理
 - ✓ 上記混在トラフィック処理でもワイヤースピード性能を維持
- **コスト・パフォーマンス**
 - ✓ 回線毎の設置が必要な為、導入および保守の低価格化が必須

PASは全ての要件を満足します!!!

PIONEER OF LINK TECHNOLOGY

L7 CSLB 処理フロー



PIONEER OF LINK TECHNOLOGY